

# 秋田市のあらまし

平成28年度



秋田市議会事務局

## 発刊にあたって

この「秋田市のあらまし」は、中核市として着実に発展を続けている本市の現況をご理解いただくために、秋田市政全般にわたる主要事項を収録し、毎年発行しているものです。

本書の編さんにあたりましては、貴重な資料の提供ならびにご協力をいただきました関係各位に対し、深く感謝するとともに、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 8 月

秋 田 市 議 会 事 務 局

秋田市議会ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council/>



### 秋田市の市章

昭和3年6月に制定され、的に矢を配し、秋田市の「田」の字と旧藩主佐竹氏の居城の別名「矢留」をあらわしている。(秋田市出身の文様学者、小場恒吉氏考案)

○市のシンボルカラー **若草色** 昭和53年7月12日制定

市の花  
さ つ き



昭和37年6月4日選定  
昭和53年7月12日制定

市の木  
け や き



昭和43年3月5日選定  
昭和53年7月12日制定

# 目 次

◎ おいたち	1
◎ 位置・地勢	2
◎ 都市宣言	2

## 第1章 議会

1. 議会構成	4
2. 委員会	5
3. 議会の活動状況	6
4. 報酬・旅費等	9
5. 議会事務局	11
6. 歴代正副議長	13
7. 秋田市議会議員名簿	14

## 第2章 総務部

1. 歴代三役	16
2. 新庁舎の建設	19
3. 職員数	20
4. 給与および報酬	21
5. 職員研修	23
6. 福利厚生	24
7. 防災・その他の危機管理	24
8. 行政改革推進状況	27
9. 公文書管理制度	28
10. 情報公開制度	28
11. 個人情報保護制度	29
12. 契約	30
13. 財産管理・活用	30
14. 庁舎	30
15. 工事検査件数	31

### 第3章 企画財政部

1. 第13次秋田市総合計画「新・県都『あきた』成長プラン」の推進	34
2. 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	34
3. 移住促進事業	34
4. きずなでホットしていきあきた寄附金推進事業	34
5. 県・市連携文化施設整備推進経費	34
6. (仮称)あきた芸術祭検討経費	34
7. 土崎まちづくり拠点施設整備事業	35
8. 新屋まちづくり拠点施設整備事業	35
9. 友好・姉妹都市交流推進事業	35
10. 国際平和推進事業	36
11. 地域国際化推進事業	36
12. 公立大学法人運営費交付金	36
13. 公立大学法人施設整備費補助金	36
14. 公立美術大学大学院設置支援経費	36
15. 地域情報化の推進	36
16. 事務のOA化	37
17. 番号制度啓発経費	39
18. 統計調査関係業務	39
19. 広報活動	39
20. 広聴事業	40
21. 東京事務所	41
22. 移住相談の強化	41
23. 財政関係	42
24. 税関係	43
25. 各会計別の集計	44
26. 一般会計歳入款別集計	46
27. 一般会計歳出款別集計	48
28. 一般会計歳入財源別集計	50
29. 一般会計歳出性質別分類	51
30. 市債計画一覧	52
31. 一般会計から他会計への繰出金等調(28年度)	53
32. 年度別経費の人口、世帯負担額(歳出)	54

33. 年度別市税の人口、世帯負担額	55
34. 地方交付税調	56
35. 普通交付税調	56

#### 第4章 観光文化スポーツ部

1. 観光・コンベンションの振興	58
2. にぎわい創出	59
3. 文化振興	59
4. スポーツの振興	64
5. 秋田拠点センターアルヴェ・秋田市民交流プラザ	69
6. 大森山動物園	69

#### 第5章 市民生活部

1. 秋田市斎場	72
2. 平和公園（墓地公園）	72
3. 南西墓地	72
4. 河辺墓地	73
5. 北部墓地	73
6. 自治振興	73
7. 市民協働・都市内地域分権の推進	76
8. 男女共生社会の推進	77
9. 日本女性会議の開催	77
10. 家族・地域の絆づくりの推進	77
11. 住民基本台帳、戸籍関係の異動・届出等取扱件数	78
12. 国民年金	81
13. 国民健康保険事業	81
14. 健康診査等	84
15. 後期高齢者医療制度	84
16. 西部市民サービスセンター	85
17. 北部市民サービスセンター	85
18. 河辺市民サービスセンター	85
19. 雄和市民サービスセンター	86
20. 南部市民サービスセンター	86

21. 東部市民サービスセンター	86
22. 中央市民サービスセンター	86
23. 駅東サービスセンター	87
24. 相談事業	87
25. 消費生活	88
26. 計量事業	89

## 第6章 福祉保健部

1. 福祉保健関係の法定計画	92
2. 生活保護	93
3. 高齢者福祉	93
4. 障がい者福祉	99
5. 医療費の助成	101
6. 民生委員・児童委員	101
7. 介護保険	102
8. 指導監査等	102
9. 地方独立行政法人市立秋田総合病院の支援等	104
10. 生活困窮者自立支援事業	104
11. ねりんピック秋田2017開催準備	104
12. 参考	104

### 秋田市保健所

1. 保健総務	106
2. 健康管理	107
3. 衛生検査	110
4. 保健予防	110
5. 秋田市保健センター	112

### 秋田市食肉衛生検査所

1. 食肉に供する獣畜の食肉衛生検査（と畜検査）	113
2. 伝達性海綿状脳症（TSE）のスクリーニング検査	113
3. 残留有害物質モニタリング検査	113
4. 枝肉の拭き取り検査	113
5. 認定小規模食鳥処理場監視	113

## 第7章 子ども未来部

1. 次世代育成支援	116
2. 母子福祉	116
3. 子ども福祉医療	117
4. 青少年の非行防止および健全育成	118
5. 児童福祉	118
6. 幼稚園	122
7. 放課後児童対策	123
8. 母子保健	125

## 第8章 環境部

1. 環境保全対策	128
2. 清掃事業（ごみ、し尿）	130
3. 産業廃棄物	139

## 第9章 産業振興部

### 商工業の振興

1. 企業の活性化の推進	142
2. 企業立地・事業拡大の推進	148
3. 雇用の拡大と質の向上	151
4. 貿易と物流の拡大	152

### 農林水産業の振興

1. 戦略的で多様な農林水産ビジネスの創出	153
2. 農林水産業経営の確立と食料の安定供給	154
3. 豊かな農山村の形成	156

卸売市場	158
------	-----

## 第10章 建設部

1. 道路の整備	162
2. 河川	165
3. 都市緑化の推進	166
4. 公園緑地の現況と整備	167



## 第11章 都市整備部

1. 都市計画	174
2. 景観の創造および保全	176
3. 市街地の開発整備	177
4. 住環境の整備	179
5. 公的住宅の整備	180
6. 交通政策	181
7. 交通安全対策	181

## 第12章 教育委員会

1. 生涯学習の推進	184
2. 学校教育	184
3. 社会教育	188

## 第13章 公営企業

1. 上下水道事業	194
2. 公営企業経営成績の推移	198

## 第14章 行政委員会

1. 選挙管理委員会	202
2. 農業委員会	204
3. 監査委員	206

## 第15章 消防

1. 現有消防力	208
2. 消防団員の報酬および費用弁償額	209
3. 平成27年中の火災・救急・救助統計	209
4. 緊急消防援助隊	209
5. 国際消防救助隊	210
6. 高度救助隊	210
7. 消防総合通信指令システム	210
8. 災害監視システム	210
9. カメラ付携帯電話画像伝送システム	211

10. 119 番ファックス	211
11. Web 119	211

## 第 16 章 公社等

1. 秋田市土地開発公社	214
2. (公財)秋田市総合振興公社	214
3. (一財)秋田市駐車場公社	216
4. 太平山観光開発(株)	217
5. (一財)秋田市勤労者福祉振興協会	218
6. (公財)秋田観光コンベンション協会	218
7. 河辺地域振興(株)	219
8. (株)雄和振興公社	220
9. (一財)秋田市学校給食会	220

## 第 17 章 統計

1. 人口、世帯の推移 (国勢調査結果)	222
2. 産業別就業人口の推移 (国勢調査結果)	222
3. 平成 22 年国勢調査の結果	223
4. 学校数および生徒数の推移	223
5. 市立小・中学校校舎面積の推移 (屋内運動場除く)	224
6. 事業所数・従業者数の推移	225
7. 製造業の推移	225
8. 商店数、従業者数、販売額の推移	226
9. 農家数と耕地面積の推移	226

◎ 秋田市機構一覧表



## ◎ おいたち

秋田市の開発は、天平5年（733年）、大和朝廷が北辺守備の拠点として、高清水の丘に出羽柵（秋田城）を設置したことに始まる。

その後、南北朝、室町時代を経て、足利末期の戦国時代には、安東氏（のち秋田氏）が土崎地区に湊城を築城し、政治、経済、文化の中心として繁栄した。

そして慶長7年（1602年）、当時「窪田（くぼた）」と称した寒村に、佐竹氏が水戸から推定1万から1万5千人の人々とともに移り住んだ。

佐竹氏は、神明山（後の千秋公園）に新城を築き、侍町の内町、町人町の外町の町割りを行った。このまちづくりは、当時としてはすぐれた都市計画であり、いわゆる封建諸侯の防御、出撃を主眼とした戦略的なまちづくりであった。

明治4年の廃藩置県後、現秋田市は久保田から秋田と改称され、県庁所在地となった。

秋田町と呼ばれた明治10年ごろは、世帯数約9,700戸、人口約32,000人の町であったが、明治19年の大火と悪疫の流行により、町勢がおとろえ、人口も減少し、明治22年4月の市制施行当時の秋田市は、面積6.9km<sup>2</sup>、世帯数約6,600戸、人口約29,300人であった。

その後、秋田市は町村合併、雄物川放水路の開通、秋田港と秋田運河の改修、工業地帯の造成、鉱物資源の開発、羽越・奥羽の両本線をはじめとする交通運輸機関の整備等により、市勢はめざましく発展した。

昭和36年には新しい時代の要請に応え、総合かつ計画的な行政の方向を明らかにした初の「秋田市の現状と将来の展望」を策定し、これに基づいて区画整理、公園、上・下水道、学校建築など都市整備が活発に進められ、城下町秋田から近代都市に生まれ変わった。以後、おおむね5年ごとにこの長期計画を見直し、新たな将来展望を策定してきたが、平成3年の第7次から名称を秋田市総合計画と変更した。

その後、平成9年4月1日に中核市となり、平成17年1月11日には河辺郡河辺町、雄和町を編入し、市域が拡大した。

平成28年3月には、28年度から32年度までを計画期間とする第13次秋田市総合計画「新・県都『あきた』成長プラン」を策定した。時代の変化に対応するため、5年を計画期間とする「基本構想」と毎年度見直す「推進計画」により構成すると共に、人口減少問題を正面から受けとめ、今後成長させることが必要な分野において、一体的かつ集中的に経営資源を投入する成長戦略を設定し、「秋田市を元気にすること」、「元気な秋田市を次の世代に引き継ぐこと」の実現を目指している。

## ◎ 位置・地勢

秋田市は、秋田県のほぼ中心に位置し、日本海に面して、面積は906.09 km<sup>2</sup>で、県の総面積の7.8%を占めている。

東は出羽丘陵が連なり、太平山ろく一帯は秋田杉の美林でおおわれ、自然景観を誇っている。

市の南部を雄物川が西に流れ、また中心市街地を南に貫流する旭川は、太平川と合流し日本海に注いでいる。

海岸線はきわめて単調であり、海岸線の1～2kmの内側沿岸域には黒松の砂防林が植栽されている。

南と北には、豊かな秋田平野がひらけ地味が肥え、生産力が高い穀倉地帯となっている。

市庁の位置は、東経140度6分で東京とほぼ同一経線上にあり、緯度は北緯39度43分で、大体ニューヨークと同緯度にある。

### 市 域 の 変 遷

編入年月日	面積(km <sup>2</sup> )	人口(人)	世帯(戸)	備 考
明治22年4月1日	6.87	29,297	6,598	市制施行
38年8月1日	7.19	29,986	6,735	広山田村(檜山観音前、長沼、宮田、愛岩下)、寺内村(八橋一里塚)、旭川村(泉馬場、新堰、反町、原ノ町、手形山崎)編入
42年12月21日	7.32			旭川村、手形深田(現秋大敷地)編入
大正13年4月1日	11.48	42,202	6,787	牛島町全域編入
15年4月1日	14.00	46,165	7,520	川尻村全域編入
昭和8年3月14日	75.95	54,756	8,257	旭川村全域編入
16年4月1日	132.09	98,246	17,626	土崎港町、寺内町、新屋町、広山田村編入
29年10月1日	428.88	176,064	29,035	太平村、外旭川村、飯島村、下新城村、上新城村、浜田村、豊岩村、仁井田村、四ツ小屋村、上北手村、下北手村、下浜村編入
30年1月1日	458.92	181,624	29,946	金足村編入
平成17年1月11日	905.67	336,395	133,141	河辺町、雄和町編入
28年4月1日現在	906.09	314,335	135,147	

## ◎ 都市宣言

交通安全都市宣言 昭和37年3月12日

非核平和都市宣言 議会で非核平和都市宣言に関する決議を昭和59年12月24日議決

ゆとり創造都市宣言 平成4年2月7日

環境都市あきた宣言 平成16年7月19日

はずむスポーツ都市宣言 議会ではずむスポーツ都市宣言に関する決議を平成20年12月19日議決

# 第 1 章 議 会

# [議 会]

## 1. 議会構成

### (1) 議員定数

条例定数 39人、現員数 39人

※地方自治法の改正により、議員定数の法定上限が平成23年5月に撤廃  
任期 平成27年5月2日～平成31年5月1日

[経緯]

#### ○「秋田市議会議員の定数を減少する条例」

・昭和35年の国勢調査時の人口が20万3,000人であり、法定人口20万人をわずかに3,000人超えただけであったので、市長提案により法定数44人を2人減の42人とした。(昭和37年12月25日制定、昭和38年4月30日執行一般選挙より施行)

・平成2年の国勢調査の結果、人口は30万2,000人となり、法定数が48人となったが、市長提案により法定数48人を4人減の44人とした。(平成2年12月26日改正、平成3年4月21日執行一般選挙より施行)

・「秋田市議会議員の定数を定める条例」の設定に伴い廃止した。(平成13年12月25日)

#### ○「秋田市議会議員の定数を定める条例」

・地方自治法の改正(平成11年法律第87号)を受け、「秋田市議会議員の定数を定める条例」を制定し、定数を42人とした。(平成13年12月25日公布、平成15年4月27日執行一般選挙より施行)

・河辺町および雄和町の編入に伴い、法定合併協議会で地方自治法第91条第5項を適用し、定数を法定上限数の46人とするに決定したことから、「秋田市議会議員の定数を定める条例」を改正し、定数を46人とするとともに、条例施行以後、初めて期日を告示される一般選挙までの間、旧秋田市、旧河辺町、旧雄和町の3つの選挙区を設け、それぞれの選挙区の定数を42人、2人、2人とした。(平成17年1月13日公布、平成17年2月6日執行増員選挙(旧河辺・雄和町両区域)より施行)

・市町合併後の定数を決定する過程において、3選挙区、定数46人による選挙は市町合併後1回限りとし、その後は、全市1区の選挙とするとともに、定数についても減ずるべきとの考え方が法定合併協議会に報告されていることを踏まえて検討した結果、定数を市町合併前の42人とした。(平成18年9月13日公布、平成19年4月22日執行一般選挙より施行)

・全国的な経済不況や雇用状況の悪化など、本市を取り巻く財政状況が非常に厳しいことや、市町村議会において、地域の実情に即し、自らの判断で議員定数を削減する傾向が顕著となっていることを踏まえて検討した結果、定数を39人とした。(平成22年10月5日公布、平成23年4月24日執行一般選挙より施行)

### (2) 年齢別議員数(平成28年4月1日現在)

年 齢	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	平均年齢
人 員	2人	5人	12人	14人	6人	59.4歳

### (3) 当選回数(平成27年5月2日現在)

回 数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	計
人 員	9人	8人	10人	6人	4人	0人	1人	1人	39人

## (4) 会派および党派別議員数 (平成28年4月1日現在)

単位：人

党派名 会派名	自由民主党	公明党	社会民主党	共産党	民進党	無所属	計
秋水会	8					8	16
そうせい					1	5	6
市民クラブ						4	4
公明党秋田市議会		4					4
フロンティア秋田					1	3	4
社会・市民連合			3				3
日本共産党 秋田市議会議員団				2			2
計	8	4	3	2	2	20	39

## 2. 委員会 (平成28年4月1日現在)

## (1) 常任委員会

委員会名	定数	任期	所管事項
予算決算委員会	39人	2年	予算および決算に関する事項
総務委員会	10人	2年	総務部、企画財政部、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会および公平委員会の各所管に属する事項 ならびに他の常任委員会の所管に属しない事項
厚生委員会	10人	2年	市民生活部、福祉保健部および子ども未来部の各所管に属する事項
教育産業委員会	10人	2年	観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会および農業委員会の各所管に属する事項
建設委員会	9人	2年	環境部、建設部、都市整備部および上下水道局の各所管に属する事項

## (2) 議会運営委員会

委員会名	選出方法	所管事項
議会運営委員会	各派交渉団体（3人以上の会派）の所属議員数の比率によって選出する。委員長は議長選出会派から、副委員長は副議長選出会派から選出する例が多い。	議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等および議長の諮問に関する事項について調査し、議案、陳情等を審査する。

※定数10人 任期2年



### 3. 議会の活動状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

#### (1) 本会議開催状況

会期別 区分	定例会				小計	臨時会		小計	合計
	6月	9月	11月	2月		5月	1月		
会期	6月11日 ～ 7月3日	9月2日 ～ 10月8日	11月26日 ～ 12月18日	2月18日 ～ 3月18日		5月22日	1月18日		
会期日数	23日	37日	23日	30日	113日	1日	1日	2日	115日
開議日数	5日	6日	5日	5日	21日	1日	1日	2日	23日
会議時間	10時間 26分	14時間 56分	14時間 23分	15時間 10分	54時間 55分	47分	24分	1時間 11分	56時間 6分

#### (2) 会期別付議事件数

単位：件

区分	会期別	定例会				小計	臨時会		小計	合計	
		6月	9月	11月	2月		5月	1月			
市長 提出	予算案	5	4	13	33	55				55	
	条例案	5	7	13	32	57		6	6	63	
	議決案	5	11	17	19	52	2		2	54	
	同意				2	2	1	1	2	4	
	認定		4			4				4	
	承認	予算									
		条例						4		4	4
	認	契約その他									
	諮問案	1		3		4				4	
	小計	16	26	46	86	174	7	7	14	188	
議員 提出	条例案				1	1				1	
	会議規則案										
	意見書案	3	1	1	1	6				6	
	決議案	1				1				1	
	その他										
	小計	4	1	1	2	8				8	
合	計	20	27	47	88	182	7	7	14	196	

#### (3) 本会議出席状況

区分	会期別	定例会				臨時会	
		6月	9月	11月	2月	5月	1月
平均出席議員数		39人	39人	39人	39人	39人	39人

#### (4) 本会議傍聴人数

区分	会期別	定例会				臨時会		合計
		6月	9月	11月	2月	5月	1月	
本会議傍聴者数		171人	138人	205人	158人	5人	1人	678人

## (5) 代表質問、一般質問および答弁時間

区分	会期別 質問時間等	定例会				合計
		6月	9月	11月	2月	
代表 質問	1回目質問者数				6人	6人
	質問時間				3時間45分	3時間45分
	答弁時間				3時間56分	3時間56分
	再質問者数				6人	6人
	質問時間				47分	47分
	答弁時間				26分	26分
	質問時間計①				4時間32分	4時間32分
答弁時間計②				4時間22分	4時間22分	
一般 質問	1回目質問者数	7人	10人	10人	3人	30人
	質問時間	3時間7分	4時間43分	4時間44分	1時間24分	13時間58分
	答弁時間	3時間31分	4時間8分	4時間34分	1時間15分	13時間28分
	再質問者数	6人	10人	10人	2人	28人
	質問時間	1時間2分	1時間31分	1時間35分	21分	4時間29分
	答弁時間	1時間3分	1時間13分	1時間4分	17分	3時間37分
	質問時間計③	4時間9分	6時間14分	6時間19分	1時間45分	18時間27分
答弁時間計④	4時間34分	5時間21分	5時間38分	1時間32分	17時間5分	
質問時間合計①+③		4時間9分	6時間14分	6時間19分	6時間17分	22時間59分
答弁時間合計②+④		4時間34分	5時間21分	5時間38分	5時間54分	21時間27分

※平成22年9月定例会から、初回の質問は一括質問・答弁方式で行い、再質問以降は一問一答方式で行うこととした。

## (6) 会期別議決状況

単位：件

区分	会期別	定例会				小計	臨時会		小計	合計
		6月	9月	11月	2月		5月	1月		
市長 提出	可決・承認	15	22	43	84	164	6	6	12	176
	否認									
	決定		4			4				4
	継続									
	同意	1		3	2	6	1	1	2	8
小計		16	26	46	86	174	7	7	14	188
議員 提出	可決	2	1	1	2	6				6
	否認	2				2				2
	継続審査									
	小計	4	1	1	2	8				8
合計		20	27	47	88	182	7	7	14	196

## (7) 委員会およびその他の会議回数

会 議 名	委 員 会		そ の 他	計
	会期中	閉会中		
予 算 決 算 委 員 会	13回	0回		13回
総務委員会・予算決算委員会総務分科会	11回	2回		13回
厚生委員会・予算決算委員会厚生分科会	8回	0回		8回
教育産業委員会・予算決算委員会教育産業分科会	9回	1回		10回
建設委員会・予算決算委員会建設分科会	12回	1回		13回
議 会 運 営 委 員 会	23回	7回		30回
全 員 協 議 会			2回	2回
各 派 会 長 会 議			13回	13回
世 話 人 会 議			1回	1回
各 派 代 表 者 会 議			4回	4回
正 副 委 員 長 会 議			1回	1回
合 計	76回	11回	21回	108回

## (8) 請願・陳情審査件数および審査結果

単位：件

会期別	審査結果	審 査 案 件	採 択	趣旨採択	一部採択・ 一部継続	不 採 択	継 続 審 査
請 願	6月	4	1			3	
	9月	2				2	
	11月	1				1	
	2月	1				1	
	小計	8	1			7	
陳 情	6月	12	2		1	8	1
	9月	9	2			5	2
	11月	6	1	1		4	
	2月	8				7	1
	小計	35	5	1	1	24	4
合 計		43	6	1	1	31	4

## (9) 委員会別請願・陳情審査件数

単位：件

委員会区分	議会運営	総 務	厚 生	教育産業	建 設	計
請 願		2	3	3		8
陳 情	2	22	2	4	6	36

※ 継続審査含む。

## (10) 議員発議

会 期 別	件 名	議決結果
6月定例会	・認知症への取り組みの充実強化に関する意見書提出の件	可 決
	・集団的自衛権等の行使を可能にする安全保障関連法案の撤回と平和的な外交による紛争の解決に関する意見書提出の件	否 決
	・少人数学級と教職員定数改善の推進及び義務教育費国庫負担2分の1への復元に関する意見書提出の件	可 決
	・安倍内閣による新たなる憲法解釈にて現行憲法下でも自衛隊の海外派兵は可能とすることに反対する決議の件	否 決
9月定例会	・地方財政の充実・強化に関する意見書提出の件	可 決
11月定例会	・地方大学の機能強化に関する意見書提出の件	可 決
2月定例会	・秋田市議会委員会条例の一部を改正する件	可 決
	・地方公会計の整備促進に関する意見書提出の件	可 決

## 4. 報酬・旅費等

## (1) 議員報酬

単位：円

適 用 年 月 日	議 長	副 議 長	議 員
平成 元 年 4 月 1 日	580,000	530,000	510,000
〃 3 年 4 月 1 日	630,000	580,000	560,000
〃 5 年 4 月 1 日	670,000	620,000	600,000
〃 7 年 4 月 1 日	700,000	650,000	620,000
〃 9 年 4 月 1 日	720,000	670,000	640,000
〃 15 年 1 月 1 日	714,000	664,000	634,000
〃 17 年 12 月 1 日	704,000	655,000	625,000

## (2) 期末手当

報酬月額に1.2を乗じて得た額に、次の支給割合を乗じて得た額（平成28年4月1日適用）

6月	$\frac{147.5}{100}$	12月	$\frac{150}{100}$	合計	$\frac{297.5}{100}$
----	---------------------	-----	-------------------	----	---------------------

## (3) 政務活動費

1人月額100,000円を4月、7月、10月および1月の4回に分けて会派に交付する。

適用年月日	月額（円）	備考
昭和53年4月1日	20,000	調査研究費（創設）
〃 56年4月1日	30,000	調査研究費（改定）
〃 60年4月1日	40,000	〃
平成元年4月1日	60,000	〃
〃 2年4月1日	75,000	〃
〃 3年4月1日	80,000	〃
〃 13年4月1日	100,000	政務調査費（条例により制定）
〃 25年3月1日	100,000	政務活動費（条例により制定）

## (4) 旅費

単位：円

区 分	日 当 (1日につき)	宿泊料（1夜につき）		食卓料 (1夜につ き)
		甲 地 方	乙 地 方	
市長、副市長、常勤の監査委員および地方公営企業の管理者又はこれらに相当する職務にある者	3,000	14,800	13,300	3,000

甲地方…秋田県の地域以外の地域 乙地方…秋田県の地域

乙地方の場合、日当を支払わない

## (5) 行政視察旅費（1人年額）

区 分	金額（円）	適用年月日
常任委員会視察旅費	140,000	平成18年4月1日
議会運営委員会視察旅費	70,000	平成18年4月1日
特別委員会視察旅費	実費支給	

## 5. 議会事務局

### (1) 議会刊行物

#### ア 市議会報

- (ア) 名 称 「あきた市議会だより」昭和51年2月創刊
- (イ) 発行部数・回数 1回138,300部（平成28年度予算）・年4回（定例会毎）発行
- (ウ) 判型・ページ数 A4判・10ページ（代表質問を実施した定例会のみ14ページ）
- (エ) 組 字 1段12字×34行・5段組
- (オ) 活 字 ・ 色 11ポイント（オフセット印刷）・黒と特色
- (カ) 編 集 あきた市議会だより編集委員会
- (キ) 配 布 先 市内全戸配布
- (ク) 声 の 議 会 報 視覚障がい者を対象に「あきた市議会だより」の内容をテープに吹き込み、郵送する。
- (ケ) 平成28年度予算 印刷製本費 9,564千円（PDFファイル含む）  
配布委託料 3,818千円

#### イ 会議録

- (ア) 判 型 A4判・横書・1段47字×41行
- (イ) 発 行 部 数 1回110部（平成28年度予算）
- (ウ) 活 字 ・ 色 10ポイント（オフセット印刷）・黒
- (エ) 配 布 先 議員・当局・図書館等
- (オ) 平成28年度予算 2,537千円（録音データ反訳業務委託、印刷製本等）

#### ウ 秋田市のあらまし

平成27年度より秋田市議会HPにPDFファイルで公開。議員については庁内印刷による冊子を配付。

#### エ 秋田市議会関係例規・事例集

職員には庁内LAN上のデータベースで周知。議員については庁内印刷による冊子を配付

### (2) 行政視察来市状況

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
来市数（団体）		9		18	4		18	14		2		1	66
人 数（人）		65		123	25		150	96		11		4	474

### (3) 他市からの調査依頼受理件数 267件

(4) 議会図書

ア 蔵書数（平成28年4月1日現在）

単位：冊

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学技術	産業	芸術	語学	文学	加除法令等	合計
冊数	92	15	438	639	22	20	20	27	16	6	176	1,471

イ 議員図書費（平成28年度予算額） 169千円

(5) 会議録閲覧・検索システム

ア 導入年月 平成7年4月（平成12年4月検索ソフトをウインドウズ対応版に更新）

イ 目的 本会議における議案の審議状況、代表・一般質問の状況、請願・陳情の採択状況および常任委員会・決算特別委員会の審査状況等の議会情報について、閲覧・検索を行う。

ウ 概要 会議録および委員会記録の全文が検索対象であり、議会名、質問者名、固有名詞等さまざまな角度からのアクセスが可能である。また、会議録は平成14年8月から、委員会記録は平成23年7月から市議会のホームページ上で公開し、インターネットでの検索が可能となっている。

エ 対象 本会議の会議録は平成2年度以降、委員会記録は平成23年度以降について閲覧・検索が可能である。

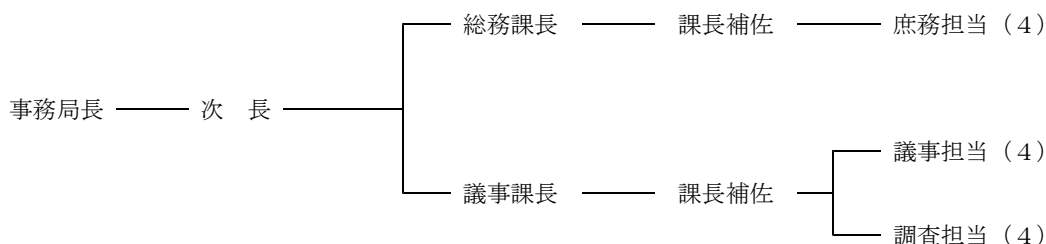
(6) 本会議におけるケーブルテレビでの放映およびインターネット録画配信

平成13年6月から、定例会の本会議における市長説明、代表質問および答弁、一般質問および答弁をケーブルテレビで生中継している。また、平成19年6月からケーブルテレビの録画映像を利用したインターネット録画配信を実施している。

平成24年6月からは、定例会および臨時会について、原則すべての日程をケーブルテレビおよびインターネットで生中継している。

(7) 議会事務局機構（平成28年4月1日現在）

定数20人・現員18人



6. 歴代正副議長

議長			副議長		
代	氏名	在任期間	氏名	在任期間	
初代	泉田政成	明治22・5・10～明治24・1・5	大貫敏藏	明治22・5・10～明治24・1・5	
2	大貫敏藏	明治24・1・13～明治25・3・26	鈴木常吉	明治24・1・23～明治25・3・26	
3	渡辺新一	明治25・4・1～明治29・12・10	井上廣居	明治25・4・4～明治29・12・10	
4	井上廣居	明治30・1・1～明治31・3・25	高堂兵右衛門	明治30・1・1～明治30・12・25	
5	渡辺新一	明治31・4・8～明治31・12・10	石井正太郎	明治31・1・8～明治31・12・10	
6	井上廣居	明治32・1・11～明治33・1・15	市川護久	明治32・2・21～明治38・1・5	
7	平野直治	明治33・1・17～明治34・7・25	村山三之助	明治38・1・13～明治40・3・27	
8	市川護久	明治34・8・11～明治35・9・10	館岡忠吉	明治40・4・6～大正6・3・27	
9	船山忠定	明治35・9・17～明治38・1・13	佐野八五郎	大正6・4・9～大正8・1・28	
10	長谷川勝太郎	明治38・6・24～明治40・1・15	湊鶴吉	大正8・1・29～大正10・3・27	
11	村山三之助	明治40・4・6～大正6・3・26	稲見春之助	大正10・4・11～大正12・5・10	
12	館岡忠吉	大正6・4・9～大正10・3・26	佐藤小太郎	大正12・5・26～大正14・3・20	
13	山崎城	大正10・4・2～大正12・4・10	長谷川勝太郎	大正14・4・20～昭和3・8・20	
14	加賀谷長兵衛	大正12・5・6～大正13・1・4	根田忠党	昭和3・9・12～昭和4・3・20	
15	湊鶴吉	大正13・1・15～昭和7・10・5	戸崎順治	昭和4・4・9～昭和8・4・30	
16	片屋永之助	昭和7・10・20～昭和8・3・26	筒井英次郎	昭和8・5・9～昭和12・5・15	
17	田口松太郎	昭和8・5・9～昭和10・11・4	野口周治郎	昭和12・5・5～昭和17・6・30	
18	片屋永之助	昭和10・11・13～昭和17・5・20	辻兵太郎	昭和17・7・13～昭和20・3・10	
19	加藤助吉	昭和17・7・13～昭和20・9・22	梅津忠尚	昭和20・5・30～昭和22・5・30	
20	小西傳助	昭和20・10・1～昭和22・4・29	石井直茂	昭和22・5・22～昭和26・4・29	
21	田口長太郎	昭和22・5・22～昭和26・4・29	川原田理七	昭和26・5・17～昭和27・5・27	
22	田口長太郎	昭和26・5・17～昭和30・4・29	佐藤末松	昭和27・5・30～昭和28・5・27	
23	田口長太郎	昭和30・5・17～昭和31・1・21	白滝末紀	昭和28・5・30～昭和29・5・31	
24	鈴木傳八	昭和31・2・21～昭和34・5・1	三宅藤吉	昭和29・5・31～昭和30・4・29	
25	鈴木傳八	昭和34・5・21～昭和38・4・29	鈴木傳八	昭和30・5・17～昭和31・2・21	
26	鈴木傳八	昭和38・5・21～昭和40・9・29	林次郎	昭和31・2・21～昭和32・5・31	
27	小玉賢次郎	昭和40・9・29～昭和42・5・1	林次郎	昭和32・5・31～昭和34・5・1	
28	浅野正三	昭和42・5・16～昭和44・6・23	長浜谷久助	昭和34・5・21～昭和36・5・25	
29	神田常治	昭和44・6・23～昭和46・5・1	浅野正三	昭和36・5・25～昭和38・5・1	
30	丸山清	昭和46・5・19～昭和48・6・25	銭谷小太郎	昭和38・5・21～昭和40・9・29	
31	渡部啓悦	昭和48・6・25～昭和50・5・1	泉鎌一郎	昭和40・9・29～昭和42・4・18	
32	鎌田喜右衛門	昭和50・5・19～昭和54・5・1	佐藤民治	昭和42・5・16～昭和46・5・1	
33	伊藤秀男	昭和54・5・14～昭和55・8・26	鎌田喜右衛門	昭和46・5・19～昭和50・5・1	
34	藤田禮逸	昭和55・9・10～昭和58・5・1	橋本金一	昭和50・5・19～昭和54・5・1	
35	長谷川清美	昭和58・5・16～昭和59・12・6	加藤茂	昭和54・5・14～昭和56・6・15	
36	藤田禮逸	昭和59・12・6～昭和60・5・31	荻原長雄	昭和56・6・15～昭和58・5・1	
37	三浦茂彦	昭和60・6・11～昭和62・5・1	保坂直一	昭和58・5・16～昭和60・6・11	
38	淡路定一	昭和62・5・20～平成元・6・15	保坂惣五郎	昭和60・6・11～昭和62・5・1	
39	加藤茂	平成元・6・15～平成2・2・18	新岡雅	昭和62・5・20～平成元・6・15	
40	古谷英雄	平成2・3・5～平成3・5・1	古谷英雄	平成元・6・15～平成2・3・5	
41	熊谷国太郎	平成3・5・20～平成5・6・10	加賀屋三郎	平成2・3・5～平成3・5・1	
42	相原政志	平成5・6・10～平成7・5・1	菊地達雄	平成3・5・20～平成5・6・10	
43	鈴木孝雄	平成7・5・19～平成9・6・6	古谷隆一	平成5・6・10～平成7・5・1	
44	大塚隆一	平成9・6・6～平成11・5・1	前田喜藏	平成7・5・19～平成9・6・6	
45	芦田晃敏	平成11・5・21～平成13・6・6	藤原敬介	平成9・6・6～平成11・5・1	
46	高橋智徳	平成13・6・6～平成15・5・1	榎清	平成11・5・21～平成13・6・6	
47	佐々木晃二	平成15・5・23～平成17・7・4	渡辺一男	平成13・6・6～平成15・5・1	
48	赤坂光一	平成17・7・4～平成19・5・1	安井貞三	平成15・5・23～平成17・7・4	
49	加賀谷正美	平成19・5・18～平成21・6・1	渡辺良雄	平成17・7・4～平成19・5・1	
50	加賀谷正美	平成21・6・1～平成23・5・1	宇佐美洋二郎	平成19・5・18～平成21・6・1	



議 長			副 議 長		
代	氏名	在 任 期 間	氏 名	在 任 期 間	
51	小木田 喜美雄	平成23・5・24～平成25・6・4	鈴木 忠 夫	平成21・6・1～平成23・5・1	
52	鎌 田 修 悦	平成25・6・4～平成27・5・1	成 沢 淳 子	平成23・5・24～平成25・6・4	
53	渡 辺 正 宏	平成27・5・22～	相 場 金 二	平成25・6・4～平成27・5・1	
54			石 塚 秀 博	平成27・5・22～	

7. 秋田市議会議員名簿（平成27年4月26日選挙）

平成28年6月9日現在

議席 番号	氏 名	郵便番号	住 所	会派	党籍	委員会※1	自宅電話番号
1	鈴 木 知	010-0901	保戸野桜町5番17-101号	共産	共産	総務	866-6142
2	藤 枝 隆 博	010-1632	新屋大川町16番1号	社市	社民	建設	828-1871
3	工 藤 新 一	010-1424	御野場四丁目10番9号	社市	社民	教産・議運	839-0177
4	長 澤 孝 政	011-0983	寺内鶉ノ木3番14号	社市	社民	厚生	846-0420
5	武 田 正 子	010-0043	桜ガ丘一丁目8番地2	公明	公明	厚生	832-1053
6	松 田 豊 臣	010-1413	御所野地藏田二丁目4番4号	公明	公明	建設	826-1823
7	宇佐見 康 人	011-0942	土崎港東二丁目2番4-A202号	そう	無	厚生	846-3737
8	藤 田 信	019-2742	河辺三内字留見瀬35番地1	そう	民進	建設・議運	832-5611
9	武 内 伸 文	010-0945	川尻みよし町5番26号	そう	無	教産	862-0763
10	安 井 誠 悦	010-0001	中通四丁目1番52-406号	市ク	無	総務	837-7768
11	見 上 万里子	010-0844	手形山中町10番16号	市ク	無	厚生	835-4693
12	細 川 信 二	011-0946	土崎港中央一丁目15番7号	秋水	無	教産	845-0020
13	安 井 正 浩	010-0917	泉中央五丁目1番3-903号	秋水	自民	総務	863-4407
14	田 中 勉	010-0063	牛島西三丁目1番28号	秋水	無	厚生・議運	834-9822
15	川 口 雅 丈	010-0001	中通六丁目15番13号	秋水	無	建設・議運	833-9267
16	佐 藤 純 子	010-1211	雄和椿川字方福97番地	共産	共産	教産	886-3378
17	倉 田 芳 浩	011-0946	土崎港中央一丁目12番18号	フ秋	無	建設・議運	845-4038
18	伊 藤 巧 一	010-1224	雄和種沢字沼田47番地	フ秋	無	総務	886-2775
19	佐 藤 哲 治	019-2741	河辺岩見字萱森29番地1	フ秋	民進	厚生	883-2635
20	小 松 健	010-0963	八橋大沼町15番30号	そう	無	総務・議運	865-6147
21	齊 藤 勝	010-0802	外旭川字神田573番地6	そう	無	総務	868-2186
22	佐 藤 宏 悦	010-1408	上北手大戸字関上218番地1	秋水	無	教産	835-2064
23	伊 藤 一 榮	010-1417	四ツ小屋字笹葉9番地	秋水	無	総務	839-4191
24	熊 谷 重 隆	019-2625	河辺北野田高屋字雷谷地47番地2	秋水	自民	厚生・議運	882-2851
25	菅 原 琢 哉	011-0913	飯島鼠田三丁目5番19号	秋水	自民	建設	845-6068
◎	渡 辺 正 宏	010-0953	山王中園町11番40号	秋水	無	-	864-0658
27	岩 谷 政 良	010-0973	八橋本町四丁目1番20号	秋水	無	教産	863-3256
28	小 野 寺 誠	019-2741	河辺岩見字萱森留見瀬24番地6	秋水	自民	建設	883-2725
29	小 林 一 夫	010-1503	下浜羽川字二十町73番地	フ秋	無	教産	879-2428
○	石 塚 秀 博	010-1423	仁井田字大野143番地3	公明	公明	総務	839-1564
31	成 沢 淳 子	011-0923	飯島文京町2番3号	公明	公明	教産・議運	845-7348
32	小 原 讓	010-0114	金足下刈字前田22番地2	そう	無	厚生	873-2719
33	花 田 清 美	010-1421	仁井田本町一丁目15番3号	市ク	無	建設	839-4342
34	渡 辺 良 雄	010-0135	上新城五十丁字大村屋敷190番地	市ク	無	教産・議運	870-2110
35	齊 藤 善 悦	010-1202	雄和芝野新田字中台46番地	秋水	自民	厚生・議運	886-2920
36	工 藤 四 郎	010-1341	雄和新波字樋口9番地1	秋水	自民	総務	887-2502
37	鎌 田 修 悦	010-0051	下北手松崎字家ノ前209番地6	秋水	自民	建設	835-9147
38	小木田 喜美雄	010-0066	牛島南二丁目1番13号	秋水	無	総務	839-7075
39	赤 坂 光 一	010-1637	新屋扇町13番7号	秋水	自民	教産	828-1933

備考 ◎は議長、○は副議長、秋水は秋水会、そうはそうせい、市クは市民クラブ、公明は公明党秋田市議会、フ秋はフロンティア秋田、社市は社会・市民連合、共産は日本共産党秋田市議会議員団である。  
議運は議会運営委員会、総務・厚生・教産（教育産業）・建設は各常任委員会である。

※1 議長を除く全議員が予算決算委員会に所属

''' >0v )r » 4Š





































